



建築物総合環境計画概要書 新築

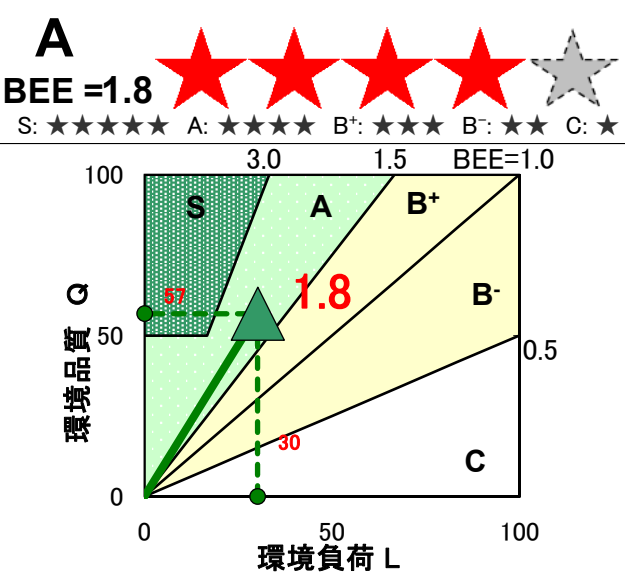
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

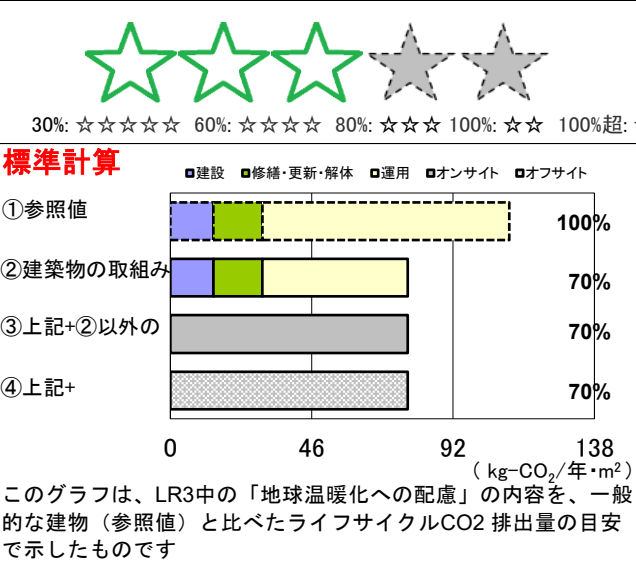
建物名称	PMO梅田
建設地	北区芝田2丁目
建築用途	事務所
建築主	
設計者	
敷地面積	838.95 m ²
建築面積	485.90 m ²
延床面積	6,122.54 m ²
構造/階数	S造 / 地上13階
完了年(予定)	2025年7月

1-2 外観

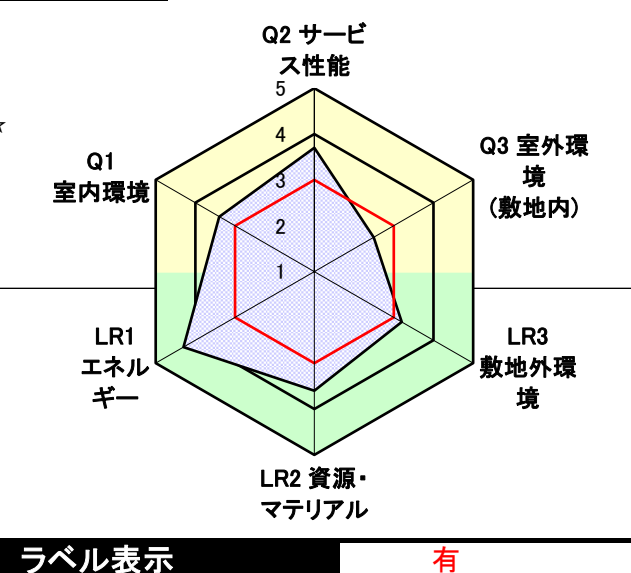
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



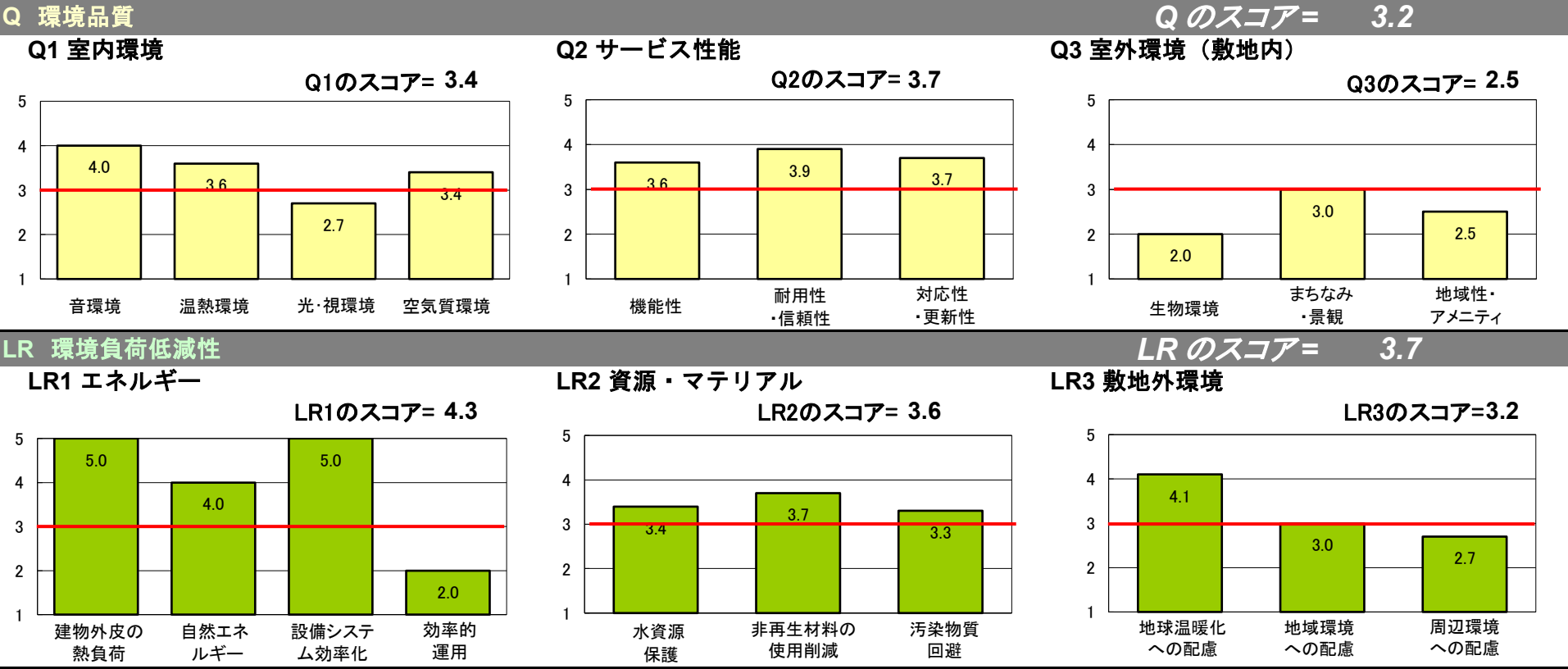
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 大阪市北区に建設されるオフィスビルの計画である。 高効率な設備機器の導入により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		その他 -
Q1 室内環境 遮音性能の高い建具の採用や、事務室と廊下間の界壁遮音性能を高くすることなどにより、音環境の向上を図った。	Q2 サービス性能 躯体の高い耐震性や、更新間隔が長い給排水管の採用などにより、耐用性を向上させた。また、受電設備の二重化や非常用発電機の設置などにより、信頼性を向上させた。	Q3 室外環境（敷地内） 外観パースを多数作成し、周辺環境との調和の確認をしている。
LR1 エネルギー 適切な断熱材が建具性能により外皮の断熱性能を高め、熱負荷抑制を図った。また、昼光センサーによる照明制御により、自然エネルギーの利用を図った。	LR2 資源・マテリアル 再利用できるユニット部材の採用や、天井ボードなどにリサイクル材を採用するなど、非再生材料の使用削減に努めた。	LR3 敷地外環境 自然エネルギー利用や省エネルギー化によりライフサイクルCO2排出量を抑制して、地球温暖化に配慮している。また、燃焼機器は使用せず大気汚染を防止することで、地域環境に配慮している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.8

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.1
配慮事項	LCCO2排出率削減に配慮。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	Low-eガラスを使用し断熱性能を高めている。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	LEDなど高効率の機器を採用することで、BEIm値の低下に貢献している。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BEI][BEIm]
	-（相当）	0.79
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.59	-
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		0.59